

令和4年 業種別労働災害発生状況

(令和4年12月末現在)

室蘭労働基準監督署

区分 業種別	令和4年			令和3年同期			対前年		業種割合	令和3年確定値		
	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	3	473 [72]	476 [72]	3 [1]	198 [62]	201 [63]	275	136.8	100.0	3	216	219
製造業		78 [8]	78 [8]		33 [8]	33 [8]	45	136.4	16.4		37	37
食料品		61 [3]	61 [3]		6 [1]	6 [1]	55	916.7	12.8		8	8
木材木製品								-				
窯業・土石		2 [1]	2 [1]		2	2			0.4		2	2
鉄鋼業		4 [1]	4 [1]		4 [1]	4 [1]			0.8		5	5
金属・機械		7 [1]	7 [1]		8 [2]	8 [2]	-1	-12.5	1.5		8	8
輸送用機械					2	2	-2	-100.0			2	2
その他の製造業		4 [2]	4 [2]		11 [4]	11 [4]	-7	-63.6	0.8		12	12
鉱業・土石採取業								-				
建設業	2	26 [2]	28 [2]	1	26 [4]	27 [4]	1	3.7	5.9	1	28	29
土木工事業		5 [1]	5 [1]	1	6 [1]	7 [1]	-2	-28.6	1.1	1	6	7
建築工事業		14	14		15 [3]	15 [3]	-1	-6.7	2.9		16	16
木造建築業		5	5		2	2	3	150.0	1.1		3	3
その他の建設業	2	2 [1]	4 [1]		3	3	1	33.3	0.8		3	3
道路貨物運送業	1	13 [1]	14 [1]		15 [3]	15 [3]	-1	-6.7	2.9		17	17
その他の運輸業		5 [4]	5 [4]		3	3	2	66.7	1.1		4	4
陸上貨物取扱業		1	1				1	-	0.2			
港湾運送業		2	2		2	2			0.4		2	2
林業					2	2	-2	-100.0			2	2
漁業					1	1	-1	-100.0			1	1
卸売・小売業		36 [16]	36 [16]		32 [19]	32 [19]	4	12.5	7.6		36	36
社会福祉施設		91 [9]	91 [9]		18 [8]	18 [8]	73	405.6	19.1		20	20
旅館業		10 [4]	10 [4]	1	25 [6]	26 [6]	-16	-61.5	2.1	1	25	26
清掃業		22 [10]	22 [10]		4 [2]	4 [2]	18	450.0	4.6		5	5
上記以外の事業		189 [18]	189 [18]	1 [1]	37 [12]	38 [13]	151	397.4	39.7	1	39	40

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したもので、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数です。
本統計は、速報値であり後日修正されることがあります。本統計表は北海道労働局ホームページでダウンロードができます。



↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑
室蘭労働基準監督署
からのお知らせ



↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑
石綿総合情報
ポータルサイト

○ 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、手洗い等の徹底、密閉空間の改善、近距離での会話、換気等の抑制等感染防止対策を徹底しましょう。

「北海道冬季ゼロ災運動」に取り組みましょう。(令和4年12月1日から令和5年3月31日まで)
特に転倒災害防止対策について積極的な取り組みをお願いします。

北海道最低賃金は、令和4年10月2日から時間額920円に改訂されました。
なお、日給や月給についても最低賃金が適用になります。支払っている金額を確認してください。

令和4年 死亡労働災害事例

番号	発生日	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1	1	17時台	道路貨物運送業	はさまれ、巻き込まれ	トラック	被災者は、事業場の敷地内において、ダンプトラックの荷台を上げて、ダンプトラックに付属した荷台の降下を防止するためのストッパーを使用せずに車体と荷台の間に入り、荷台昇降用油圧ホースの付属部品を交換する作業をしていたところ、荷台が降下して挟まれた。
2 3	10	11時台	建設業	有害物等との接触	その他の装置、設備	製鉄工場構内にて、元請事業場からコークス工場内に設置された設備の修繕のため、部品の取替え作業を請け負い、同作業のため、手持ち式金属切断機を用いてボルトを切断していたところ、切断したボルト1本を混炭機内に落としてしまったことから、ボルトの回収のため、被災者のうち1名が同機内に入ったところ倒れ、当該被災者を救出のため近づいた職長も同機内で倒れ、被災したものの。

令和3年 死亡労働災害事例

番号	発生日	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1	4	12時台	建設業	はさまれ、巻き込まれ	トラック	被災者は、坂道に駐車していた車両の位置を動かそうとしたが、キーがなかったことから、1人で車輪付きのジャッキを使用し、当該車両を動かそうと車体前方を持ち上げたところ、当該車両が動き出し、轢かれたもの。
2	7	18時台	旅館業	はさまれ、巻き込まれ	その他の機械一般	被災者は、事業場の敷地内にある車両保管場所前の道路上、トラクターを普段停車している場所から約28メートル坂を下った場所で、エンジンが停止し、ギアがニュートラルの位置でサイドブレーキの引かれていないトラクターの後部に取り付けた草集機の下敷きになった状態で同僚に発見された。
3	10	16時台	農業	転倒	その他の機械一般	事業場敷地内において、乗用草刈機(四輪駆動式、車両重量350kg)にて場内の草刈り作業を行っていた被災者が窪地で横転した草刈機の下敷きになり死亡した。